

江東区議会議員

鈴木あやこ

働く世代の
ワーク・ライフ・バランスを
応援します！

2018年
6-7月号
Vol.59

鈴木あやこのプロフィール

1975年2月18日生まれ。成城大学卒業後、(株)NTTドコモ勤務。猿江、潮見の居住を経て、豊洲在住。働く若い世代を代弁する女性議員が不在、という江東区議会の構成に問題意識を持ち、在職中に早稲田大学大学院で政策を学び、2011年江東区議会議員に初当選。待機児童問題、子育て・介護など、ワーク・ライフ・バランス政策に注力。インターネットによる情報発信や、対話型の区政報告会「あやこcafé」の毎月実施など、「区政の見える化」を推進。

2015年 江東区議会議員選挙にて2期目の当選。

★所属委員会 (2018年度) 企画総務委員会委員/オリンピック・パラリンピック
特別委員会 委員/会派:江東区議会民政クラブ/所属政党:立憲民主党

★マニフェスト大賞 副実行委員長ほか、全国の地方議員の
勉強会の事務局に携わる。

★趣味:料理・まち歩き・水辺歩き



鈴木あやこの活動報告

石川県・金沢市視察（5月10日～11日）

全国の地方議員で結成しているJISSENの勉強会で、石川県・金沢市を視察。

石川県庁では、北陸新幹線の開通効果やインバウンド推進などを含む観光推進プランについて、金沢市では、自転車走行空間整備やシェアサイクルなどの自転車政策、「シェア金沢」の視察を行いました。江東区政にも大変参考になる有意義な視察でした。



シェア金沢



金沢市議会

荒川区視察（5月15日）

若手市議会議員の会の全国研修で荒川区を視察。防災施策として、荒川の水を消防用水として活用する「永久水利」と中学校の「防災部」の取組。駅の高架下を活用した「まなびの森保育園」の視察、図書館・こども広場・吉村昭記念文学館が一体化した融合施設「ゆいの森」の視察。近隣区の先進事例を学ぶ、大変実のある視察でした。



まなびの森保育園



ゆいの森

毎月恒例！鈴木あやこ区政報告座談会「あやこcafé」開催案内

江東区のまちづくりについて、皆様とざっくばらんに話す区政報告座談会「あやこcafé」
最新のまちづくりの話題や議会活動のお話が中心。お気軽にお越しください！

●第86回：平成30年6月28日（木）19:00～20:30

豊洲文化センター第3研修室（江東区豊洲2-2-18 豊洲シビックセンター8階）



鈴木あやこの議会質問（予算審査特別委員会 子育て支援情報発信事業について）

（1）民間の力を活用した子育て情報発信について

【質問】

江東区では、区が運営する「子育て情報ポータルサイト」のほか、民間と連携した情報発信をすすめている。こうとう子育てメッセ実行委員会との協働によるポータルサイト「こうとう子育てびより」、PIAZZA株式会社と連携し、地域SNSを活用した情報発信などもうまく機能してきた。**子育てメッセも含む、区民協働による子育て情報発信施策の評価について伺う。**



【答弁】

子育て支援に関する情報発信はニーズも多様で、区だけで全てを賄うことは難しく、民間のノウハウも活用して提供していく必要があると考えている。

子育てメッセでは、区とともに、子育て中の保護者が結成する実行委員会が役割分担をし、双方の強みを活かすことで、区だけでも実行委員だけでもできないような、多様な情報発信ができると評価している。

また、PIAZZAなどの民間SNSと協力することで、区が発する公式情報だけでなく、身近な情報なども発信することが可能になり、よりきめ細やかな子育て支援の情報提供ができるようになっていくと評価している。



（2）LINEの活用について

【質問】

子育て世代に対するさらなる情報発信手段の充実として、渋谷区で導入しているLINEによる子育て情報発信や質問への回答も有効と考える。**江東区においてもLINEを導入してはどうか？**

【答弁】

現在の若い子育て世代において、LINEの利用が進んでいることは認識しており、有効な情報発信手段の一つだと考える。一方でAIを使った自動応答による回答内容の正確さといった技術的な問題や経費負担の問題、コンテンツを作成する事務負担等、様々な面から精査する必要があり、LINEの導入については、今後の検討課題としたい。

（3）今後の情報発信のあり方について

【質問】

江東区子育て情報ポータルサイトそのものが、見づらい、情報が探しにくい、という声も多く頂いているところである。今後、子育て情報の発信に向けては、区の公式ホームページや子育て情報ポータルサイトにかかわらず、民間事業者との連携も含め、よいわかりやすく、区民目線に立ったあいかたを考えていくべきだと考える。

区の今後の情報発信のあり方について考え方を伺う。

【答弁】

これまで、区が行なっていた情報発信の内容は、子ども家庭支援センターなどの施設におけるイベント情報等の公式情報に限られていた。一方で保護者は子ども連れで気軽にに入るお店の情報など、身近な「口コミ」による「非公式」の情報も求めている。子育て支援にかかるニーズが多岐に渡っているため、必要とされる情報も様々である。

区が口コミなどの「非公式」情報を提供することは難しいため、区と民間が連携し、役割分担をすることで、区が提供する「公式」情報と民間が提供する「非公式」情報を一体的に提供するような仕組みにしていくべきだと考えている。



ご報告

立憲民主党入党。会派名が「民政クラブ」となりました。

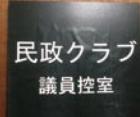
①立憲民主党 所属となりました

5月7日に民進党が希望の党と合流し、新党「国民民主党」が発足いたしました。それに伴い、鈴木あやこは民進党を離党し、立憲民主党に入党いたしました。

2011年の江東区議会議員選挙初当選時から、民主党・民進党の議員として7年間活動しておりました。今後とも働く世代の代表として、地域に根ざした活動を行ってまいります。

②江東区議会の会派名が「民政クラブ」となりました

区議会においては、これまで、「民進党・無所属クラブ」として議会活動を行なっておりましたが、このたび、区民の皆様のための政策を推進していくという思いで、「民政クラブ」と名称変更を行いました。メンバーは変わらず、国民民主党・立憲民主党・無所属議員による会派となります。今年度も政調会長として、会派の政策をまとめ、区民の皆様の立場に立った政策を推進してまいります。



今後とも精一杯地域活動・議会活動を行なっていく所存です。

皆様には引き続きのご支援・ご指導をいただけますよう、お願い申し上げます。